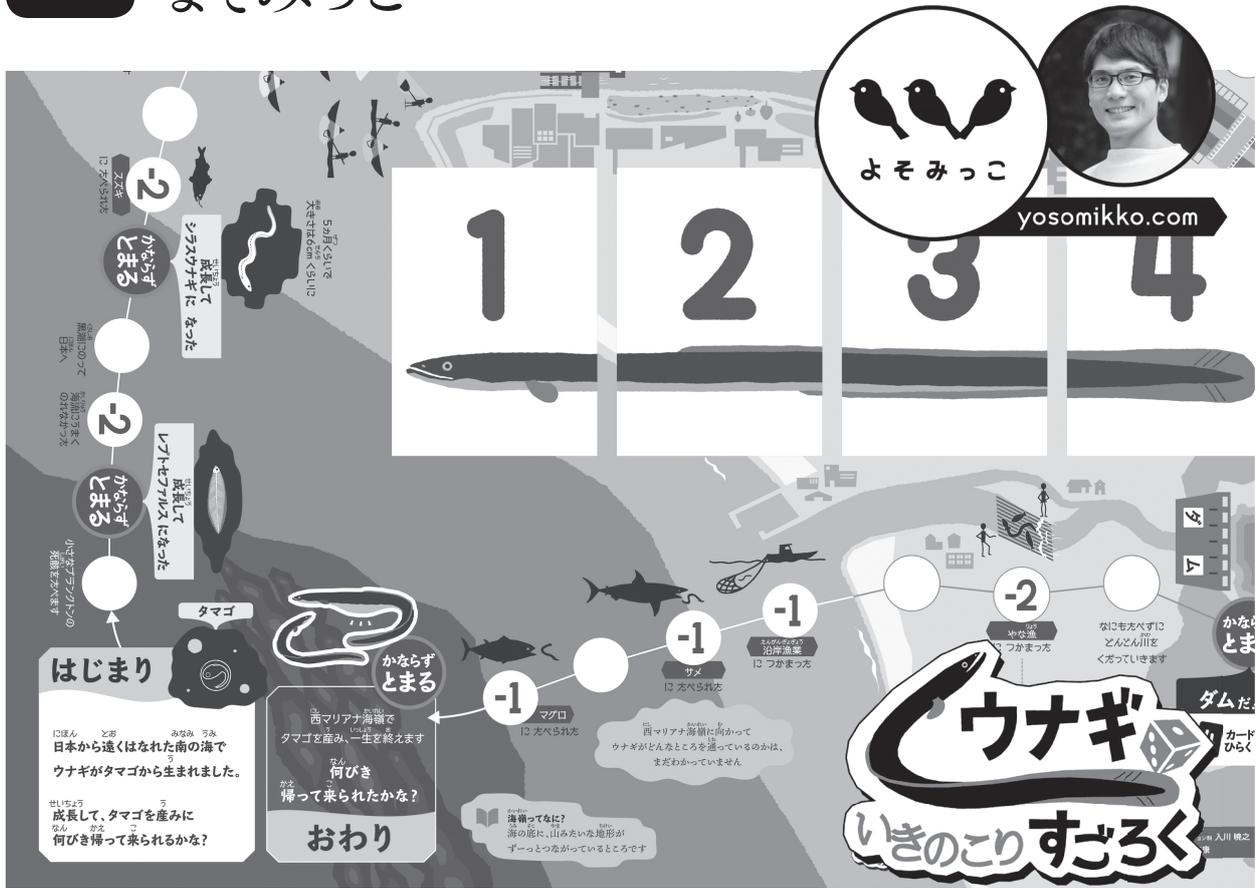


国内事例
in Japan

2

普段見られる生物たちの奥深さを伝える／よそみっこ



「ウナギいきのこりすごろく」の一部。ついやってみたくなる親しみやすさだ。

画像提供：公益財団法人日本自然保護協会・中央大学・よそみっこ

生物多様性は全ての人に関わるテーマだが、専門用語を理解することや複雑な因果関係まで多くの人と明快に共有することは容易ではない。保全の取組により多くの参加を促すためには、情報発信の仕方がカギとなる。

荻本央氏の個人事業「よそみっこ」はそれら生物に関わる、『難しい』や『分かりにくい』を伝えることを目的に、教材・ワークショップづくり、デザインなどを行っている。問題意識や取組内容、そして意外なルートについて、荻本氏に話を伺った。

情報の需要と供給

私たちの普段の暮らしは、衣食住をはじめ多くの生物や自然と接している。しかしながら、直接触れたり消費したりする瞬間以外の時間で生物たちがどのように暮らしているか、生育環境で何が起きているか、一個人からは見えない。多くの専門家があらゆる媒体で情報発信を行っている。でも、そもそもの関心がなければ届かない。環境問題の現状が深刻でネガティブであるがゆえに、伝えたい情報が一方的で過剰になってしまっていたり、受け取る側が環境問題＝我慢という刷り込みを持っていたり、様々な要因がその背景にある。荻本氏は、「環境のことを考える時に、音楽などと比べてジャンルを選ぶこ

とが出来ない。好みや生活様式に合わせた、環境のことを考えるチャンネルが必要ではないか。情報を伝える側にホスピタリティがあって初めて情報は伝わる」と指摘する。

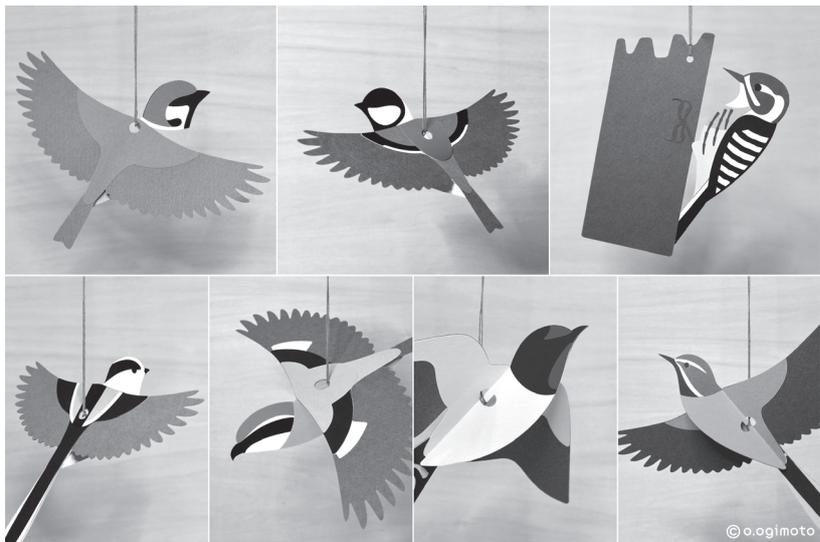
フラットな立場で議論を始めるために

2020年7月21日、よそみっこは公益財団法人日本自然保護協会、中央大学の海部健三准教授らと作成した「ウナギいきのこりすごろく」を公開した。対象は小学4年生以上で、小学校や博物館、非営利団体などに無料で貸し出すセットのほか、自由に印刷利用できるデータはHPからダウンロード可能である。

2014年頃より、専門家は二ホンウナギ絶滅の可能性について警鐘を鳴らしてきたが、その因果関係は複雑であり、解説した良書もあるが、情報が伝わる先には限界がある。このすごろくは、勝ち負けを競うものでもなく、「海で生まれて、日本の川に来て、また海に帰っていく」という、二ホンウナギの一生を纯粹に追体験する一風変わったプログラムになっている。あくまでこれは、参加者がまず同じ体験（すごろく）を通じて、二ホンウナギを取り巻く色々な立場、主体の存在を知るプロセスであり、二ホンウナギと人の共生を考える議論を始めるためのいわば準備体操を楽しめる形で提供するものである。すごろくのチュートリアルを兼ねた短い解説動画と合わせて提供されており、専門知識なしで授業に取り入れられるため学校の先生にも好評だ。参加した小学生などからは、「今まで何も考えずにウナギを食べていた」「今の自分にできることとして川の掃除を始めたい」といった感想が寄せられている。

極限まで 情報を整理する

よそみっこはすごろくの他に、鳥類や蝶の生態をシンボル化したペーパークラフト「とどめがみ」を教材として制作している。生きものの姿と暮らしを心にとどめておくという名前の由来通り、大きさや色をはじめ、食性などにつながる体の特徴が把握できるようになっている。のりだけで簡単に組み立てられるため、野外でも屋内でもできるワークショップは好評だ。実はこれらクラフトの大半は、15分～20分程度で完成できるように設計されている。例え



生物たちの体の特徴が現れている「とどめがみ」。



作成を通じて生物を学ぶということを、誰でも簡単に、短時間でできることが強みである。

ば小さな子を連れた親子でも、無理なく楽しみながら集中できる時間が目安だ。他にも解説するための印刷物が必要になる場合、多くてもA4紙1枚までという自らのルールを守っている。ここでは、荻本氏が幼少期に日本の伝統文化である能に触れていた経験が活かされている。空間も表現も型に収め、無駄を省いていくことで、受け手の意識が集まり、要点が際立ち、解釈や想像が膨らむ。よそみっこの作業は型を作ること、型に収めることなのだという。

生物多様性のみならず多くの環境

問題において、コアな関心層を情報発信の対象にするのであれば、多少分量が多くても届くかもしれない。しかし、活動のすそ野を広げていこうと思ったときに、情報発信においても相応の努力が必要である。「社会にいいことをやっている人たちはそれを積み上げることに忙殺されてしまい、本当の意味で広報やコミュニケーションに手が回っていない現状がある。そこをお手伝いしたい」。生物の専門家だけではなく、「伝える」ことの専門家の役割が今後ますます増えていこう。